

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●阪神ジュベナイルフィリーズはサークルオブライフが優勝

12月12日(日)に行われた阪神ジュベナイルフィリーズ(G I)ではサークルオブライフ(牝2歳/美浦・国枝栄厩舎)が優勝しました。鞍上のミルコ・デムーロ騎手(栗東・フリー)は、朝日杯フューチュリティS(2010年グランプリボスなど4勝)、ホープフルS(2018年サートゥルナーリア)と合わせてJRA 2歳G I完全制覇を達成したことになります。

### ●岩田康誠騎手がJRA重賞通算100勝達成

12月11日(土)の6回中京3日・第11レースとして行われた中日新聞杯(G III)ではショウナンバルディが1着となり、同馬に騎乗した岩田康誠騎手(栗東・フリー)は、史上11人目、現役では7人目となるJRA重賞通算100勝を達成しました。

### ●調教師3名が節目の勝利を達成

12月11日(土)の5回中山3日・第1レースではロープスピニングが1着となり、同馬を管理する武藤善則調教師(美浦)は、現役68人目となるJRA通算300勝(延べ4918頭目)を達成しました。また同日の6回中京3日・第3レースではタイキフォースが1着となり、同馬を管理する牧浦充徳調教師(栗東)は現役110人目となるJRA通算200勝(延べ3103頭目)を達成。さらに第12レースではカーテンコールが1着となり、同馬を管理する高野友和調教師(栗東)は現役69人目となるJRA通算300勝(延べ2920頭目)を達成しています。

### ●香港の国際騎手招待競走で川田将雅騎手は最高6着

12月8日(水)、香港のハッピーバレー競馬場で行われた「2021ロジン・インターナショナル・ジョッキーズ・チャンピオンシップ」に参加した川田将雅騎手(栗東・フリー)は、4戦して11着、8着、12着、6着という成績(0ポイント)でした。なお22ポイントを獲得したZ.パートン騎手(香港)が優勝しています。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●全日本2歳優駿(川崎)でドライスタウトがデビュー以来3連勝

全日本2歳優駿(Jpn I、12月15日、川崎、1600<sup>米</sup>)は、2番手から3、4コーナー中間で先頭に立ったドライスタウト(戸崎圭太騎手、牡、父シニスターミニスター)が3番人気のコンバスターを2馬身半引き離して完勝、単勝1.8倍の断然人気に応えました。セキフウは4着、逃げたカイカノキセキは6着、2番人気のアイスジャイアントは9着に敗れています。

### ●2020年JBCスプリントの優勝馬サブノジュニア(大井)が引退

昨年のJBCスプリント(Jpn I、大井)に優勝したサブノジュニア(牡7歳、父サウスヴィグラス)は、12月9日の大井のオープン特別6着を最後に現役を引退、北海道浦河町のイーストスタッドで種牡馬入りすることになりました。

### ●ヴェルテックスらが参戦、12月23日の名古屋グランプリ(名古屋)

名古屋グランプリ(Jpn II、12月23日、名古屋、2500<sup>米</sup>)は混戦模様も、浦和記念3着のヴェルテックスが中心、以下ケイアイパール、ライトウォーリア、ドスハーツ、ダンビュライトの順に有力視されます。

### ●12月22日の兵庫ゴールドT(園田)はテイエムサウスダンが有力

兵庫ゴールドトロフィー(Jpn III、12月22日、園田、1400<sup>米</sup>)は、58<sup>米</sup>のテイエムサウスダンが筆頭格、トップハンデ59<sup>米</sup>のラプタスが続き、57.5<sup>米</sup>のヒロシゲゴールドとワイドファラオまでが争覇圏内と考えられます。

※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●香港国際競走～日本調教馬が2勝の活躍

1日で4つのG 1を開催する香港国際競走が12月12日に香港のシャティン競馬場で行われ、日本調教馬が2勝をあげる活躍を見せました。まず勝利を手にしたのはG 1香港ヴァーズ(3歳上、芝2400<sup>米</sup>)に出走したグローリーヴェイズ(牡6歳、父ディーピンパクト、美浦・尾関知人厩舎)。J.モレイラ騎手を背に後方から鮮やかに差し切って、2年前のこのレース以来となる2つ目のG 1制覇を果たしました。日本にもうひとつの勝利をもたらしたのはG 1香港カップ(3歳上、芝2000<sup>米</sup>)のラヴズオンリーユー(牝5歳、父ディーピンパクト、栗東・矢作芳人厩舎)。川田将雅騎手の手綱で先行した同馬は、直線で少し窮屈になる場面がありましたが、そこからしっかりと脚を伸ばして、最後はヒシイグアスを短アタマ差退けました。ラヴズオンリーユーはこれが今年4月の香港G 1クイーンエリザベス二世C(芝2000<sup>米</sup>)、11月の米G 1ブリーダーズCフィリー&メアターフ(芝2200<sup>米</sup>)に続く海外G 1制覇となり、日本調教馬として史上初めて同一年に海外G 1を3勝する快挙を成し遂げました。